

特別警報

気象庁では、大規模な災害の発生が切迫していることを伝えるために、新たに平成25年8月から「特別警報」が創設されました。

普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります

⇒ 災害から身を守るために (大雨の場合) ⇐

普段から...

気象情報・空の変化に注意

Point

大雨になるおそれ
雨が降り出す



備えは大丈夫?

- 周りより低い場所など、危険箇所を把握
- 避難場所や避難ルートを確認しておく

雨が強くなると...

最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備を
雨・風の影響を受けやすい地区・避難困難者は早めの行動!

注意報



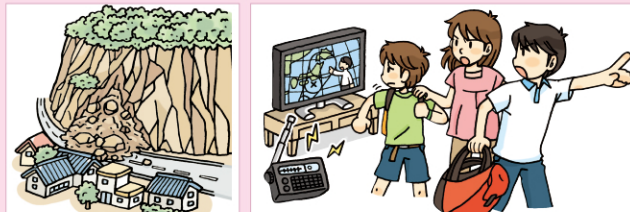
- 気象情報や外の様子に注意
- 非常用品や避難場所、避難ルートを確認
- 災害に備えて、家の外の備えを点検

大雨が
降り続くと...

自治体が発表する避難に関する情報に注意し、
必要に応じ速やかに避難

Point

警報



特別警報が
発表されていなくても
早め早めの行動を!



さらに激しい
大雨が続くと...

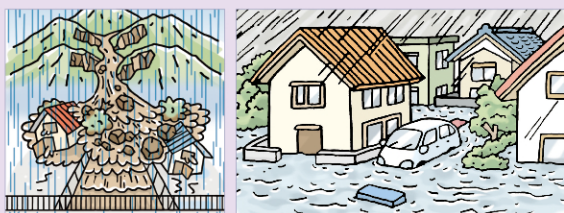
ただちに命を守る行動をとる

非常事態

市町村からの避難勧告等に従い直ちに避難所に避難!
外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所に移動

Point

特別警報



「住居の位置」や「住居の構造」、「既に浸水が生じている状況なのか否か」によって「自宅外避難」の必要性は異なりますので、冷静な判断が重要です。災害から命を守ることができる行動を考えておきましょう。

冷静な判断が大事です
周囲の状況に応じた行動を!



浸水時の避難は
非常に危険!

- 「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
- 普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。
- 避難情報が出されていなくても、危険を感じたら自主避難行動を取りましょう。